

令和5年度

小規模多機能ホームひびきの家

サービス評価

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月16日(月)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 濱崎、山下、東、高島、鳶田、堀川、近村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	3人	4人	7人

前回の改善計画	・ひびきオリジナルの初回支援時に対しての、知りたいシートを作成し利用者・スタッフの不安を取り除いていきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	・独自のシートを作る予定だったが、受け入れ前にミーティングすることができその場で不安なこと・知りたい事を共有することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	5	1		7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	4	1		7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	4			7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	5	1		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・気遣い声掛けができた。コミュニケーションができた。 ・不安を取り除けるような、不愉快な思いにならないような声かけができた。 ・毎月のご様子で初回の支援内容等と記載し伝えた。 ・何に1番困っているのかを心掛けケアプランをたてた。 ・家族によって心配事が違うため、それぞれの家族の困っていることを聞き取った。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・自分の担当の利用者ばかりに目が行きがちになり新規利用者に対しての配慮が足りなかった。 ・家族への配慮に関して、逆に不安にさせてしまったことがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・引き続き、受け入れ前のミーティングを行い支援内容の共有・確認をおこなって。 ・担当利用者を定期的に変更し、新規利用者の担当が偏らないようにする。 ・利用者や家族の不安等は見ただけでは把握しにくいので、些細な不安を言葉等で発してもらえるようにコミュニケーションを多く持ち、信頼関係を築く。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月16日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 濱崎、山下、東、高島、鳶田、堀川、近村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	1人	5人	人	7人

前回の改善計画
・大切にしていることは何か、どのように過ごして行きたいのか、楽しみにしていることは何か、といった本人の思いを把握し、職員間で共有しその思いの実現を目指して取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果
・日々の関わりの中で、今までとは違う新たな楽しみを見つけたり、今の利用者の気持ちを大切に支援していくことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		3	4		7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	2	4		7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	1	5		7
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	2	4		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・ケアプランにあげた目標に対して支援出来た。 ・コロナが落ち着き、外出機会も増え楽しい企画ができた。 ・利用者とは話をし、話を聞くようにしている。 ・実践して失敗したこと、うまくいったことを他のスタッフに記録や口頭でも伝えるようにしている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・コミュニケーションがうまく取れずかかわることが出来なかった。 ・自分の担当以外のケアプランを確認する事が出来なかった。 ・ケアプランに沿った支援ではなく、他の方と同様な支援になっていることがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・定期的に利用者の担当を変え、ケアプランを確認する機会を作る。 ・サービス内容を実践し、気づきや改善策をプランに追記していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 30 日

3. 日常生活の支援

メンバー 濱崎、山下、東、高島、鳶田、堀川、近村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	2人	人	7人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">本人の気持ちや言葉・表現の背景にあるものを受け止め【その人らしさ】を大切にしたい関わりをする。できること、できていることを活かした支援に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">チームでの話し合いが不十分な時があり、職員間で対応や認識、考え方にばらつきがあった。本人ができていないことは見守りをし、能力を維持低下させないような支援ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	4	1	7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	4	1		7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	2	4		7
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	6			7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	3	3		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">普段の様子と比べ、変化があればケース記録や申し送り等で共有できるようにしている。報告し指示を仰ぐようにしている。その都度職員間で話し合い、本人の状況に合わせた支援ができています。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">コミュニケーションが取りにくい利用者に対し、体調不良時にどのようにコミュニケーションを取ったら良いか分からなかった。申し送りやきろくの確認不足により、本人や家族に不信感、不安をあたえてしまうことがあった。「以前の暮らし」について、どのように話しを聞き出せばよいか分からず、あまり把握できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">職員1人1人が利用者を知る工夫をし、知り得た情報等は記録に残したり、会議等で共有していく。利用者の望む暮らし方を見つけそれに応じた支援を考えていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 13 日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 濱崎、山下、東、高島、鳶田、堀川、近村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	人	人	5 人	7 人

前回の改善計画	・民生委員の働きや社会資源について勉強会をする。資源を学んだうえで、利用者がそのような資源を活用しているのか知っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・社会資源についての勉強会が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	4	2		7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	5			7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	3		7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	3	2	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域での行事など、施設から参加し地域の方と関わりを持つことができた。 ・利用者や地域の方と施設外であったときには、声をかけるようにしている。 ・地域との関わりが断つことのないように、家族や地域の関係者と十分な話し合いをし支援内容を決めている。 ・サービス提供時以外のことは家族から話しを聞くようにしている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の情報を得られていない。 ・地区内や地区外の資源について把握できていない。 ・ 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・今年出来なかった、社会資源についての勉強会をする。 ・地域との関わりを深めるにはどんなことが出来るかをミーティング時に職員全員で考え、地域密着型サービスの役割が果たせるようになる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 13 日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 濱崎、山下、東、高島、鳶田、堀川、近村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	7人	人	人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ どういった視点での観察が重要なのか、迷った職員にはその都度伝えていく。 ・ スタッフ間の申し送りを徹底し、最後までしっかりと支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に経験の浅い職員には会議や普段のミーティング等で伝えるだけではなく、職員同士でも話し合い考える機会を設けた。 ・ 申し送り不足な時もあり、最後まで支援ができない時もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	2	4		7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	5			7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?		7			7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	5			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日頃の様子から変化があれば、スタッフ間で情報共有できるように努めている。 ・ 本人の希望や状態の変化、家族の意向等で相談があれば、急な泊りや訪問、通い等柔軟に対応している。 ・ スタッフ間で、情報共有出来ており、似ているケースに対して現場で判断し対応できている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 記録の確認不足で利用者の情報を把握できていない時があった。 ・ 小さい気づきを変化と捉えておらず、記録に残せていない時があった。 ・ 地域にどのような資源があるのか把握できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、利用者が必要としているサービスは何かを把握し、柔軟なサービスを提供する。(体調の変化で「泊まり」や「訪問」に切り替える等。) ・ 本人を支える家族や支援者の困りごと、不安に対する支援ができるように努める。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月13日

6. 連携・協働

メンバー 濱崎、山下、東、高島、畠田、堀川、近村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	2人	2人	3人	7人

前回の改善計画
・サービス機関の会議、運営推進会議は職員もなるべく参加し交流を深めて、内容を把握できるようにする。特にサービス機関との関係はケアマネ中心だが、担当職員も参加し内容を把握する。また、事業所は地域の相談窓口として、気軽に誰でも訪れてもらえるよう環境づくりに努める
前回の改善計画に対する取組み結果
・職員不足もあり、管理者やケアマネージャー以外の職員が会議に参加することができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	2		4	7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2		1	4	7
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	4	1	1	7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		2	3	2	7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・地域のシルバー喫茶やイベントに参加できるようになり、交流が増えた。 ・必要に応じて、他サービス機関と担当者会議を行い連携している。経過記録やカンファレンスで他職員に内容を周知している。 ・少しずつだが、地域の方を招いてのイベントが出来てきている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・ケアマネージャー以外の職員は、なかなか他サービス機関との関わりがない。 ・人材不足もあり、外部との会議にそもそも参加できない。 ・施設と一般の方々とはコロナに対する思いが違うため、気軽に訪れて欲しいということが出来ない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・コロナも第5類になり、地域の方が参加できるイベントを企画する。 ・サービス機関や自治体等の研修や会議には管理者・ケアマネが主に参加するが、参加後に資料の回覧や職員会にて情報の共有を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月27日

7. 運営

メンバー 濱崎、山下、東、高島、畠田、堀川、近村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	1人	4人	人	7人

前回の改善計画	・地域活動再開時には参加し、地域の一員としての役割を担う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・少しずつだが地区行事に参加できるものへの参加は出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1		4	1	7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	3		7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4	2	1	7
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		3	3	1	7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・会議等で、スタッフの意見を聞く場を設けている。 ・年2回、広報紙発行をした。ホームページが完成した。 ・シルバー喫茶へスタッフも参加することで、事業所が地域の拠点の一つであることを周知することができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・なかなか自分の意見を言えずにいる。 ・施設のホームページは完成したが、それ以降 SNS を活用しての情報発信ができていない。時間が取れない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・引き続き、職員会議等で職員が意見を言える場を設けていく。 ・SNS や広報誌を活用し、施設内の様子を知ってもらえるように発信していきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 27 日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 濱崎、山下、東、高島、畠田、堀川、近村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	人	5 人	人	7 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・リスクマネジメントに対する対策、検証、振り返りを行いリスク回避を行っていく。・内部の勉強会から何事にも全職員が意識を共有し、統一した考え方で対応が取れるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・その月の職員会議で報告書を確認し対策が最善か振り返り、職員全員で話し合い共有することが出来た。・経験の浅い職員と、そうでない職員とで対応にバラつきが見られた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	3	3		7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	1	4		7
③	地域連絡会に参加していますか	1	2	1	3	7
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	1	4		7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・件数の多い事故について、検証を含めた内部研修を実施した。・リスクマネジメントに対する意識を共有することができた。・

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・人員不足により、なかなか外部の研修に参加できていない。・研修を計画的に行うことが出来なかった。・自己スキルアップに消極的な職員が多い。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・研修の担当を決める。職員が講師になることで再度勉強しスキルアップにつなげていきたい。・職員が興味のある研修への参加、必要と思う研修への参加をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 27 日

9. 人権・プライバシー

メンバー 濱崎、山下、東、高島、畠田、堀川、近村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	3人	人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">定期的研修を行い、ケアや個人情報の取扱いについて振り返りをする。気になった言動が見られた際は、その都度職員間で話し合いを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">気になった言動の話し合いは、個別に対応したり会議などでもどこか良くなかったか話し合うことができた。虐待についての研修はできたものの、不適切なケア(グレーゾーン)については不十分であった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	2	5			7
②	虐待は行われていない	4	2	1		7
③	プライバシーが守られている	3	4			7
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	6			7
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	4			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">気になった声かけに関しては、その場で注意している。スタッフの言葉遣いや態度が虐待になっていないか、常に気を配り自身も気をつけている。やむを得ない拘束(センサーマット、4点柵)は定期的に必要性を見直し話し合いをし、家族に確認をとっている。話し合いをし、センサーマットを外すことができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">プライバシーに対する意識が薄く、配慮にかけることがあった。(トイレの声かけなど)成年後見制度、個人管理に対する研修や勉強会ができていない。“忙しい”を理由に、訴えの多い利用者には雑な声かけになっていることが多く見られた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">不適切ケアや身体拘束・虐待防止については、問題点や気になることがあれば勉強会を通してチームで考え利用者が安心して生活できる環境づくりを提供する。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 国見慈光会	代表者	出見敏枝	法人・ 事業所 の特徴	福井市の国見地区は人口 1100 人程度、高齢化率は 41%と小さい地域で、高齢化の割合が非常に多い地域である。登録利用者の 7 割は国見地区の利用者である。地域との結びつきが非常に強い事業所である。その為、利用者さ同士古くからの知り合いであることも多く、サロンのような雰囲気に近い。また風光明媚な場所に立地しており、豊かな自然の中で、家庭的な温かさを大切にしている。食事は、冷凍食品などはほとんど使用せず、旬のものを取り入れ手作りしている。その為、細かいニーズに柔軟に対応できることが強みである。なじみの地域で認知症煮や障害を持って、その人らしい生活が継続できるよう職員全員で取り組んでいる。
事業所名	小規模多機能ホーム ひびきの家	管理者	濱崎由佳里		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4人	人	2人	1人	人	2人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	研修会や会議へ積極的に参加していきます。インターネットなども活用し、学ぶ機会を設けていきます。	個々で参加可能な研修への参加や事業所内研修を開催した。	評価資料の内容から問題ないように思います。 今後も職員に対しての勉強会や何のために行なっているかなどの意識づけをした上で取り組んで頂きたいと思います。	入職した職員に対しては、サービス評価について時間をかけて説明を行い、サービス評価必要性を理解して取り組めるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所周辺の清掃活動、事業所内の衛生管理・環境整備を心がけ、清潔で居心地の良い事業所作りをします。	プランターに花を植えたり、畑で作物を育てたり、事業所内でも心地よく過ごせる環境づくりを行った。	施設全体が明るく良い環境だと思う。事業所外の境整備にも気を付けるとさらに良い。	安心できる空間、居心地の良い空間を模索し事業所内のレイアウトや施設外観周りの清掃にも気を付ける。
C. 事業所と地域のかかわり	可能な限り、地域主催の行事や事業所連絡会議等には参加します。参加が難しい職員には資料を回覧し、全員が把握できるようにします。	地域行事すべてには参加できなかったが、文化祭への作品展示やお祭りへの参加は出来た。 事業所連絡会は資料を回覧し全員に共有できた。	地位と一体化した事業所、相談に入りやすい状況にあると思う。	地域でされているイベントや行事を把握し、参加可能なときは利用者と一緒に参加し、地域との交流を深めていく。 事業所としても何ができるか考えていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	事業所地区(町内)との連携に努めると共に、地区外の利用者の方は担当民生委員・近隣の方との連携が持てるように努めていきます。	なかなか、事業所からアプローチして場の提供や参加ができなかった。	本人の思いに寄り添って、本人の自立支援が出来ていると思う。地域の方を交え会議等機会を増やすと良いと思う。	地域資源の情報を共有し、利用者に必要な事、してみたいことがあるか一緒に考え支援につなげていきたい。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>運営推進会議には職員が交代で参加し、発言の機会を設けていきます。</p>	<p>職員不足もあり、他職員の参加が難しかった。</p>	<p>社会情勢に合わせた話し合いや、地域課題の代もあり良い。 写真付きの活動報告は、活字を見るだけでは伝わらない利用者の表情が分かって楽しんでおられるのがとてもよく分かりました。</p>	<p>運営推進会議の「その他」の時間で、地域の中で心配なことや困っている事はないか確認していく。事例があれば意見交換や検討をしていく。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>前回出来なかった避難所としての役割をHPや広報紙を活用し、広報していきたい。 災害や感染症発生時における事業計画についてマニュアル作成・研修を行い、平時より対応できるよう備えます。</p>	<p>マニュアルは作成できた。しかし、しいぎというときに活用できるかの研修等を行っていない。</p>	<p>防災意識は高いと評価したい。しかし、災害時の事業所のあり方再検討する必要があるかもしれないと思った。</p>	<p>引き続き、備蓄の管理を行っていく。火災訓練だけではなく、災害を想定した訓練にも力を入れていく。</p>

